本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

662

CASIO
50件の電話番号記憶・時刻表機能
アラーム(時刻・時報)
DATA BANK
テレメモ&時刻表
662

使用説明書

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

防水性
- ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの
  防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。
- ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの
  洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
- ●5気圧防水の場合
  水仕事、スポーツなどでご使用になる水準です。スキンダイビング・高とび込み・ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
- ●防水性能を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
- ●この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
  (特殊な治具を必要とします。)

バンド
- ●バンドは指が1本入る程度の余裕をもたせてください。

お手入れ
- ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

温度
- ●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。また、+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック
- ●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁気
- ●磁気の影響はありません。

薬品類
- ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保管
- ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

最初の電池
- ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消耗
- ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
- ●電池交換は必ずお買いあげ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

データの保護について

故障、修理、電池交換等に起因するデータの消失による、損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは備忘録等に控えをとっておいてください。

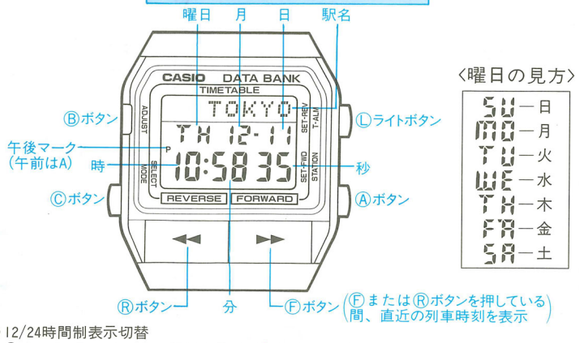
液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買いあげ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

時刻・カレンダーモード



〈曜日の見方〉

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

● 12/24時間制表示切替
Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後)と24時間制表示(24Hが点灯)とが切替わります。

アラームモード



時刻表モード



テレメモモード



秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを押すと「秒」が点滅します。



(2)時報に合わせてⒶボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00~29のときは切捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



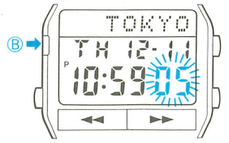
(3)Ⓑボタンを押すと点滅は止まります。



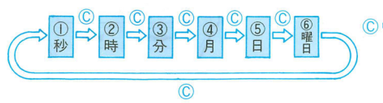
時刻・カレンダーの合わせ方

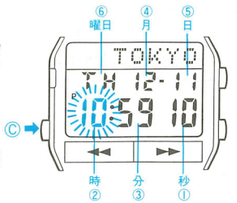
電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法で合わせてください。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを押すと「秒」が点滅します。

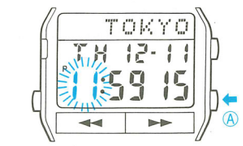


(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。



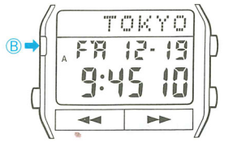


(3)(点滅個所が)Ⓐボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタン、Ⓛボタンで表示をセットするという操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注) 時のセットのとき午前(A)/午後(P)、24時間制にご注意ください。

(4)セットが終わったら、(どの個所が点滅していても)Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。



※カレンダーは大の月・小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日、あるいは電池交換のとき以外は修正不要です。

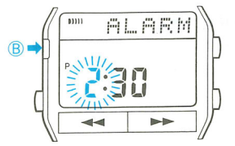
アラームの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

本機にはアラームと毎正時を知らせる時報があります。アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。
また時報は毎正時(00分のとき)を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせます。
※時刻・カレンダーモードで24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。



●アラームのセット

(1)Ⓑボタンを押すと「時」が点滅し、アラームマーク(🔔)が点灯します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が下図のように移動します。点滅個所がセット可能です。

時 Ⓒ 分



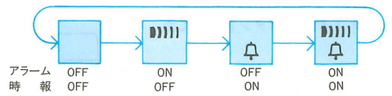
(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、ⒶまたはⓁボタンで鳴らしたい時刻にセットします。
※それぞれ押し続けると早送りができます。



(4)Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、セット完了です。

●アラーム、時報のON/OFF

アラーム表示のときⒶボタンを押すごとにアラームマーク「🔔」、時報マーク「🔔」が次の順に点灯、不点灯をくりかえします。点灯しているときがONの状態です。



●モニターアラーム

アラームモードでⓁボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。
●鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁ・Ⓐ・Ⓒ・Ⓕ・Ⓡボタンのいずれかを押します。

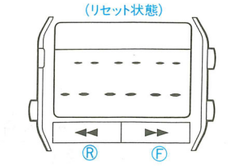
テレメモ機能の使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押しテレメモモードにします。

テレメモ機能はアルファベット5文字、数字12桁までの電話番号を最大50件までメモリーできます。
(「メモリー容量について」参照)
テレメモモードでⒻまたはⓇボタンを押すごとにメモリーされている電話番号がアルファベット・数字順に表示されます。(自動編集機能)
※ⒻまたはⓇボタンとも押し続けると早送りができます。

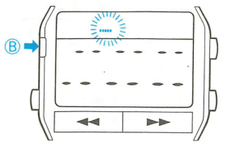


●メモリーのしかた

(1)ⒻまたはⓇボタンを押してリセット状態(右図参照)または修正したい番号を表示させます。



(2)Ⓑボタンを押すとアルファベット1桁目が点滅します。このときⒸボタンを押すごとに点滅個所がアルファベット1桁目から数字12桁目まで1桁ずつ移動します。点滅個所がセット可能です。

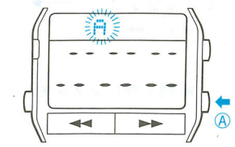


(3)ⒶまたはⓁボタンでアルファベットおよび番号をセットします。

●アルファベット(名前)

アルファベットはⒸボタンでアルファベット部を点滅させ、ⒶまたはⓁボタンで表示をセットします。
※ⒶまたはⓁボタンを押すごとに以下の順でアルファベットが切替わります。

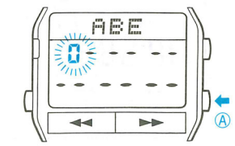
Ⓛ
スペース⇆A⇆B⇢Y⇆Z⇆0⇆9⇆−⇆・
Ⓐ



●番号(電話番号)

番号はⒸボタンで数字部を点滅させ、ⒶまたはⓁボタンで番号をセットします。
※ⒶまたはⓁボタンを押すごとに以下の順で数字が切替わります。

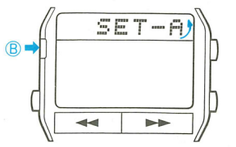
Ⓛ
−⇆0⇆1⇆2⇢7⇆8⇆9⇆スペース
Ⓐ



Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、ⒶまたはⓁボタンで番号をセットするという操作をくりかえしおこないます。

〈自動編集表示〉

(4)セットが終わったらⒷボタンを押すと〝自動編集〟(SETを表示)がおこなわれ、メモリーした番号がアルファベット・数字順に並びかえられます。これでセット完了です。
※自動編集はアルファベットの5文字を1桁目から比較しておこなわれ、順序はスペース、A~Z、0~9、−、・の順となります。



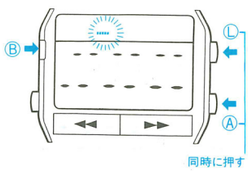
〈連続メモリー〉

1度に数件の番号をメモリーさせるときは、(3)の操作で番号をセットした後、ⒻまたはⓇボタンを押すとリセット状態またはメモリーされている番号が点滅状態で表示されます。メモリーしたい番号を(3)の操作をくりかえしおこなってセットします。セットが終わったら、最後にⒷボタンを押します。



●消去(メモリーした番号などの消去)

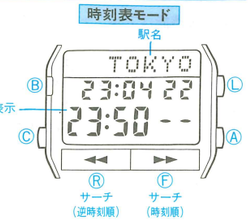
ⒻまたはⓇボタンを押して消去したい番号を表示させ、Ⓑボタンを押します。このとき(表示が点滅)、Ⓐ、Ⓛボタンを同時に押すと表示内容が消去されます。消去が終わったら、Ⓑボタンを押します。



時刻表機能の使い方……操作のしくみにしたがって©ボタンを押して時刻表モードにします。

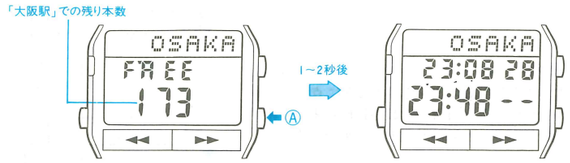
時刻表機能は駅名5文字と列車時刻を最大6駅分、合計で列車時刻を最大310本分メモリーできます。(「メモリー容量について」参照)

※時刻表機能では時間は24時間制となります。



●時刻表の表示のしかた

(1)時刻表モードに切り替えると、前回最後に見た駅名の、現在時刻に近い次の列車時刻を表示します。他の駅の時刻表を見たいときはⒶボタンを押して探します。



(2)以後、Ⓕボタンを押すごとに次の列車時刻を、Ⓡボタンを押すごとに前の列車時刻を表示します。

例)



時刻・カレンダーモードでの表示のしかた

時刻・カレンダー表示のときにⒻまたはⓇボタンを押している間、前回最後に見た駅名の現在時刻に近い次の列車時刻を表示します。

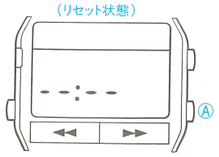


●時刻表の新規セットのしかた

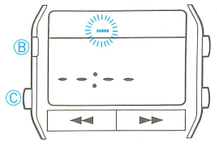
(1)新しく時刻表をセットするときは、時刻表モードでⒶボタンを押してリセット状態を探します。

※時刻表が1つも入っていないときは、時刻表モード切り替え時にリセット状態となります。

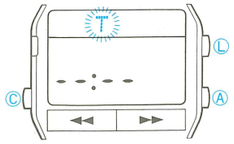
※時刻表およびテレメモデータがメモリーいっぱいに入っているときは、リセット状態とはならず、"FULL"を表示しますので、「消去」の項目をご覧になり、不要な時刻表や電話番号等を消去してください。



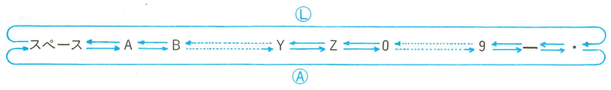
(2)Ⓑボタンを押すと駅名のアルファベット1桁目が点滅します。このときⒸボタンを押すごとに点滅個所が駅名1桁目から5桁目へと移動します。



(3)ⒶまたはⓁボタンでアルファベットおよび数字を選び、Ⓒボタンで桁を移動させます。

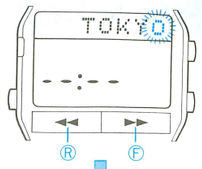


●アルファベット(駅名)

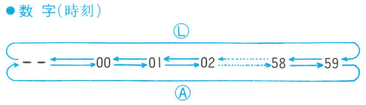


(4)駅名の入力が終りましたらⒻまたはⓇボタンを押すと0時台の桁が点滅します。このとき、Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が列車時刻の0時台から23時台へと移動します。

※時刻は24時間制で0時から23時となります。

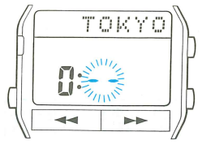


●数 字(時刻)



※Ⓒボタンを押して桁移動したときは、前回セットした数値の次から表示されます。

例) 前回"04"→Ⓐボタンで"05"を表示。



(5)以後、ⒻまたはⓇボタンで時間帯を選び、ⒶまたはⓁボタンで列車時刻(分)を選んで、Ⓒボタンでセットします。



(6)全ての時刻の入力が終わりましたら、Ⓑボタンを押してセット完了です。



●列車時刻の修正

(1)時刻表モードでⒶボタンを押して、修正したい駅名を表示させます。

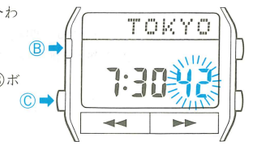
(2)ⒻまたはⓇボタンを押して、修正したい時刻を表示窓下段に表示させます。

(3)Ⓑボタンを押すと下段の左側にある時刻が点滅します。点滅個所が修正可能となりますので、右側の時刻のときはⒸボタンを1回押して点滅を合わせます。

(4)新規セットと同様な操作で、時刻を修正してⒷボタンを押します。

:7:42を修正する





●駅名の修正

(1)時刻表モードでⒶボタンを押して、修正したい駅名を表示させます。

(2)Ⓑボタンを押すと時刻の修正となりますので、続けてもう一度Ⓑボタンを押すと駅名の修正となります。

(3)新規セットと同様な操作で、駅名を修正してⒷボタンを押します。



●列車時刻の追加

(1)時刻表モードでⒶボタンを押して、修正したい駅名を表示させます。

(2)ⒻまたはⓇボタンを押して追加したい時間帯の"--"表示を表示窓下段に表示させます。

(3)Ⓑボタンを押すと下段の左側にある時刻が点滅します。"--"が右側のときはⒸボタンを押して点滅を合わせます。

(4)追加したい時刻を新規セットと同様な操作で入力してⒷボタンを押します。

※Ⓑボタンを押した後は、追加した時刻が正しい時間帯にセットされます。



●消 去

列車時刻を1つずつ消去するときは、列車時刻の修正時に"--"を入力します。また、駅名とその駅の時刻表全部を消去するには、次の手順で行ないます。

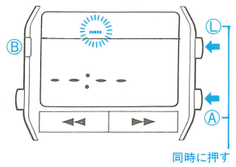
(1)Ⓐボタンを押して消去したい駅名を表示させます。



(2)Ⓑボタンを2回押して駅名の修正状態にし、Ⓐボタンと Ⓛボタンを同時に押すと、その駅名とその駅の時刻表全部を消去します。



(3)時刻表が消去されると新規セットの状態になりますので、新たな駅名と時刻を入力するか、不要なときはⒷボタンを押して消去完了です。



■乗りたいマーク機能

乗りたいマークを乗りたい列車時刻にセットしておくと、その列車時刻の30分前・20分前・10分前に電子ブザー(10秒間)が鳴り、30分前から列車時刻まで「乗りたいマーク」の点滅と残り時間を減算しながら表示します。



この乗りたいマークは1駅につき1個、最大6個(6駅分)セットできます。

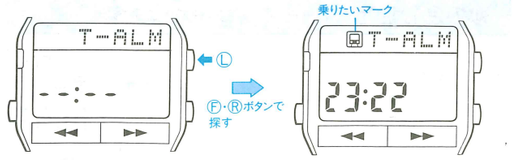
※正確にお使いいただくために、時計は定期的に「秒合わせ」をしてください。

●乗りたいマークのセット

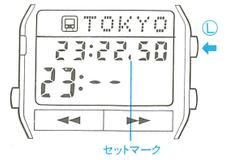
(1)時刻表モードでⒶボタンを押してセットしたい駅名を表示させます。



(2)Ⓛボタンを押すと乗りたいマークのセットモードとなりますので、ⒻボタンまたはⓇボタンを押してセットしたい列車時刻を探します。このとき、列車時刻を選ぶと同時に乗りたいマークが点灯してセットされます。



(3)セットしたい列車時刻が表示されたらⓁボタンを押すとセットマークが点灯して、時刻表モードの表示に戻ります。このときの表示は、セットされた列車時刻から順に表示します。

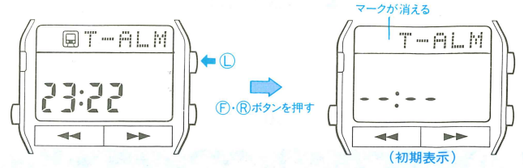


●乗りたいマークの解除

(1)時刻表モードでⒶボタンを押して乗りたいマークを解除したい駅名を表示させます。



(2)Ⓛボタンを押して乗りたいマークのセットモードにすると、セットしてある列車時刻を表示しますので、ⒻボタンまたはⓇボタンを押してセットモードの初期表示(--:--)に合わせると、乗りたいマークが消えて解除されますので、もう一度Ⓛボタンを押して時刻表モードに戻します。



※乗りたいマークをセットしてある列車時刻を消去したり変更したときは、自動的に消えて解除されます。

メモリー容量について

全メモリー容量は1008digit(デジット:メモリーの単位)あり、テレメモ1本につき20digit、時刻表では1駅につき16digit 列車時刻5本につき16digit 必要とします。つまり、テレメモのみや1駅のみの時刻表を記憶させたときでは次のように計算されます。

テレメモ　1008÷20=50.4→50本

時刻表　(1008−16)÷16=62

1駅分

62×5=310→310本

このような計算により、全容量から使用量をさし引いて残り容量を算出します。なお、何もメモリーされていないときの時刻表の残り容量(FREE表示)は駅名分を含めて"315"となります。

例) テレメモ23本、A駅90本使用の場合

使用容量……$20\times23+16+16\times(90\div5)=764$(digit)
(20:テレメモ、23:A駅、16×(90÷5):時刻表)

残り容量……1008−764=244(digit)

残りをテレメモのみに使用した場合……

244÷20=12.2→12本

A駅に追加した場合……

244÷16=15.25→15(切り下げ)

15×5=75→75本

他駅をセットした場合……

(244−16)÷16=14.25→14(切り下げ)

14×5=70→70本

●自動復帰機能

時刻やアラーム、テレメモ、時刻表のセットで表示を点滅させたままにした場合、2~3分後、自動的にセット前の表示に戻ります。

製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
常温携帯精度	平均月差±15秒以内
表示方式	FE型液晶デジタル表示
基本機能	時・分・秒・月・日・曜日
テレメモ機能	電話番号などを最大50件までメモリー(アルファベット5文字、数字12桁)自動編集機能
時刻表機能	列車時刻を最大6駅、310本までメモリー、自動編集機能・乗りたいマーク付 ※乗りたいマーク ・乗りたい列車時刻の30分前、20分前、10分前に電子ブザーで報知(10秒間) ・乗りたい列車時刻の30分前から残り時間を減算で表示。
アラーム機能	時刻アラーム　セット=時・分　電子ブザー=20秒間 時報　毎正時に2回電子ブザーで報知
セット機構	時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア) アラームセット機構、テレメモセット機構、時刻表セット機構、乗りたいマークセット機構
その他	自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切替え、オートカレンダー
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS・LSI
使用電池	CR-1616(電池別途販売)
電池寿命	約2年(1日当りランプ1秒点灯、電子ブザーを20秒使用した場合)

RE105561A